

1.活動スタッフ

活動スタッフ参加者：6名（内訳）			
男性	4名	アソシエイト層（～34歳）	1名
女性	2名	リーダー層(35～59歳)	4名
		シニア層(60歳～)	1名

2.活動場所・スケジュール・現地参加者数

3/2（土）	イベント	場所	現地参加者人数
11:40-12:50	コミュニティ活動	居場所ハウス	2名
13:00-16:00	PC&スマホ教室	ふるさとセンター	11名
3/3（日）			
8:00-10:00	ホームページ運用	長洞元気村	3名
10:00-11:00	気仙に学ぶ	長洞元気村	3名
12:00-12:30	どこ竹三鷹inまっさき	陸前高田市コミュニティホール	1名
13:00-14:30	気仙に学ぶ	長洞元気村	3名



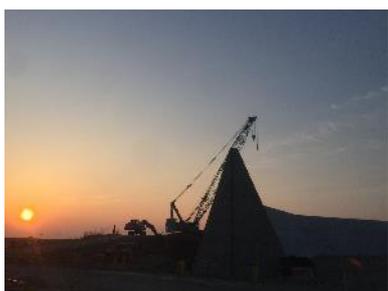
お雛様飾り（居場所ハウス）



PC&スマホ教室（末崎町地区公民館）



ワカメしゃぶしゃぶ（長洞元気村）



防潮堤視察（只出漁港）



ホームページ運用（長洞元気村）



どこ竹三鷹 in まっさき活動（陸前高田コミュニティホール）

3.参加者による活動レポート

【1日目】

■ランチ（スマイル食堂／居場所ハウス）

* 居場所ハウス賛助会員新規申込手続き等

■PCスマホ教室お手伝い（参加 11 名、相談多岐盛況。日経ローカルの取材あり。）

・ Word によるちらしづくりと、筆ぐるめの元号変更への対処法について担当し、事前打ち合わせに基づいて解説と具体的操作とその文書化をしました。

・ 「PC 教室」にて今回は 3 名の対応をしました。一人目の方は、Word で字を揃えたり、見た目をきれいにしたいとのことでした。二人目の方は、Word によるチラシの作成で、一部の文章を粹でくりたいという相談でした。また、文字が多い原稿を読みやすくするにはどうしたらいいのか相談され行間や段落の広さを変えて解決できないか一緒に試してみました。三人目の方は、チラシを初めて作りたいとのこと、Word とパワーポイントのどちらで作るのがいいのか悩んでおられました。

・ RADIKO のインストール、設定、使い方説明

・ iPhone の写真の PC への取込み方法説明

・ iPhone と PC の同期方法 → iTunes をインストールして操作を説明、写真の PC でのフォルダ管理方法&同期方法。

・ Facebook プロフィール編集、Eメールのファイル添付方法、アドレス帳の編集方法→PC 画面を一緒に見てご本人に操作いただき機能を確認。課題は解決。

・ Facebook に写真投稿する方法→同上

・ Amazon で植物の種子を購入する方法→同上

・ 写真を編集する方法のレクチャー。写真の明るさを調整したり、集合写真でお顔をのせたくない方がいるときの対応方法など。フォトギャラリーを触ってみたいというリクエストだったので、フォトギャラリーやペイントなど windows の無料ソフトで練習。

・ 新しく買ったスマホに Facebook アプリを入れてログインしたいが、パスワードがわからない。登録しているメールアドレス

自体のパスワードがわからずメールを開けないため、Facebook のパスワード変更ができず行き止まり。

■元気村 WEB の KK2 メンバー打合せ

・ 長洞元気村で夕食・懇親会（長洞元気村の現地担当者の皆様と黎明期からの思い出や彼らの生活全般にわたる話題で盛り上がる。）

・ 懇親会を兼ねていたこともあり、参加者に WEB 運営と直接関係ない話を何度も繰り返して堂々巡りあり。完結に打合せを行い、終了後懇親会にしたほうが効率的。

【2日目】

■元気村HPの運営方針協議

・ 元気村のホームページの現状と課題を資料に基づいて解説して、ポリシーを決めて頂き、ドメインの権限や費用負担、体制について合意形成することができました。

・ 長洞元気村において、地域コミュニティとしての情報発信の課題点についてお話をお伺いしました。

・ ホームページを自分自身で更新し、現在の取り組みや活動を発信したいとの要望もお持ちで、簡単にホームページを作成できるサービス等を紹介するなどを行いました。また、ブログの更新がスマホからできなくなったとの問い合わせに対し、直接解決はできませんでしたが、代替りの方法で行っていただくようにしました。ブログの更新を楽しみにしている方がいらっしゃるの、どんどんブログ更新してほしいです。

・ 支援者への依存を軽減し効率的で簡便な方式をデモも交えて説明。新ドメインへの移行など一部実現、作業続行。関係者の十分な理解と作業対応力が必要であり、今後も丁寧なサポートが重要。

・ 主体となる現地の方のご意向を確認し、お手伝いできることがあれば可能な範囲でご支援する。

・ 3 月末でドメイン更新が必要な事務手続きの確認と対応。→ 現地のご意向にそった進め方ができるものと感じた。

■気仙に学ぶ

・長洞元気村において、漁船に乗って沿岸から震災復興の状況を視察する学習プログラムの計画がされていましたが、天候の都合で出航できず、代わりに、現地の伝統的な結婚式の記録映像を視聴。

・年配者の指導で習俗が色濃く出ている婚礼の議を若い人達が粛々と進めている映像は、文化的な価値が高い。

・花婿、花嫁が両家をそれぞれ訪れる儀式で、そのための家の作りであるとか、風習の習わしであるとかを、解説を頂きながら見ることができ、伝統と文化に触れることができ大変有意義なプログラムでした。

・古式豊かな婚姻の儀は、地域が人を支え、人が地域を支える場面を見事に見せてくれた。

■どこ竹三鷹 in まっさき活動

・陸前高田市コミュニティホールで開催中の「おらほアート展」に訪問。

・どこ竹の展示をはじめ、気仙の方の手作り作品を見学。丁寧に繊細な展示物に、心を洗われた。きれいでとても素晴らしかった。

■全体の中で印象に残ったこと、ご意見・ご感想

・IT デバイドは教える側が相当のコミュニケーションに配慮して取り組むことの必要性を認識し、プロセスを省略することなく、具体的且つ正確に書くことが必要であることを認識しました。

・今回印象だったのが、チラシの作成や Facebook、ホームページなどの情報発信に対して非常に活発にされています。ただ、困ったことがあったら調べるということについてはご苦労されているように思いました。ここで思い出されるのが、大震災の際に、生きるために食料や物資の配布等を能動的に情報収集できることが非常に有利となります。今後は情報収集の必要性についてどのように伝えることができるかの検討も必要ではないかと思いました。

・まっさきのPC相談対応に原点があるが、既に局面は変わっている。多様な高度なITC関連ニーズに対応努力をしていることを可としたい。

・ふるセン（末崎町地区公民館）の活動に加え、居場所ハウス、長洞元気村との接点が深まっており、適切な濃淡を以てこれらの関係先との付き合いを維持すべきと思う。

・ボランティアとしては費用負担が高額になるため、スポンサー抜きでは大きな規模では維持が難しいと思われる。AVCCありきではなく、ミッションの薄い「同窓会」的な性格の自弁型とか、活動原資獲得に知恵を絞りたい。

・土曜昼食時、居場所ハウスにて飲食メニューのチラシで文字が帳票内に収まらない事から、それを収まる様文字フォントを小さくして対応。→居場所ハウスへもITボランティアが今後は必要になると考える。

・1日目の夕食はなでしこの皆様と席が近く、たくさんおしゃべりさせていただき、とても楽しかった。温かいおもてなしと美味しいお料理をいただき、眠気も疲れも癒された。

・2日目の早朝散歩は、清々しい日の出を見ることができて、ラッキーだと感じた。とても寒かったが、気持ちがよかった。

・末崎町、元気村のみなさまに今回も多くを学ばせていただき、本当にありがたい。事故などもなく、とても和やかで楽しく過ごすことができた。皆様に2日間とてもお世話になり、心から感謝している。

・PCスマホ相談室大盛況で待っている方も多く、予め「何時から誰が担当、それまでご自身で進めてください」とアナウンスするのもありかと思った

・お土産を頂いたのにあからさまにいやな顔をして周りに不平を言い続ける方、寝室の隣で夜中まで大声でけんかを続ける方、酔ってお借りしている部屋のカーペットにお酒をこぼし続ける方、現地の方の目の前で全く興味なさそうな態度をとる方、個人情報やSNSであげる方などが残念だった。

以上、参加者レポート・アンケートより抜粋